

**審査会合でいただいた
指摘事項への回答について**

平成27年11月20日
沖縄電力株式会社

資料目次

- 指摘事項 3 : 低圧託送料金の季節別時間帯別料金について（特別高圧よりも低圧が、
小売料金と差がある場合の妥当性）（再） . . . P 2
- 指摘事項 5 : 電力会社の中長期設備関連コストにおける設備投資計画（減価償却費・除却費）、
修繕計画（修繕費）及び関連経費等の考え方 . . . P 3

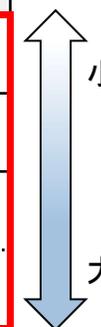
指摘事項3: 低圧託送料金の時間帯別メニューにおける昼夜間料金差について(再)

- 低圧託送料金の昼夜間格差の反映においては、需要全体を踏まえた一定の格差比率を用いておりますが、低圧需要へ供給する場合には、より上位の送配電設備全体を一体的に使用していることを踏まえると、一定の格差比率を用いて算定することに合理性はあるものと考えます。
- 時間帯別の電力量料金単価は、標準メニューの電力量料金単価をもとに、一定の昼夜間格差を反映して算定しております。制度設計WGにおいて、経過措置料金の個別料金メニューの単価を超えるような託送料金の設定を認めるべきではないと整理されたことを踏まえ、低圧の基本料金を低水準に設定した結果、標準電力量料金単価は高圧に比べて高くなっており、結果として単価差(絶対値)も大きくなっております。

<電力量料金単価>

(単位:円/kWh、税抜)

		標準	時間帯別		
			昼間(①)	夜間(②)	単価差(①-②)
特別高圧		3.41	3.83	2.86	0.97
高圧		4.73	5.33	3.94	1.39
低圧	動力	7.87	8.89	6.51	2.38
	電灯	10.53	11.92	8.69	3.23



指摘事項5: 中長期設備関連コストにおける設備投資計画等の考え方

- 弊社は、地域の需要動向及び供給信頼度を考慮し、送変電設備における設備計画を策定しております。
- 構築した設備については、定期的な点検と必要に応じたメンテナンスを行っております。また、実施にあたっては、安定供給の確保を前提に、合理的な補修方法を検討し、点検周期、発注方法の見直し等を行い、修繕費の効率化を行っております(修繕計画)。
- 高経年化機器については、機器のコンディションを踏まえ更新時期を繰り延べしつつ(減価償却費の低減、除却費の先送り)、安定供給の確保、年間の工事量・施工能力、作業停止など、原価算定期間を含めた長期計画において工事全体の平準化を図った計画を策定しております。
- このように、安定供給の確保、効率化および平準化を考慮し、中長期的な投資計画、修繕計画が図れるよう努めております。